

陳情第31号	受理年月日	令和3年6月1日
付託委員会	保健福祉委員会	
件名	保健福祉局の事務のスピードアップと能率化について	
要旨	<p>保健福祉局は、新型コロナウイルスのワクチン接種において、接種券の配送遅延、予約電話の不通及び接種ミスなどにより、多くの市民が憤慨しているところであるが、私に対する後期高齢者医療費の差額分の支払い事務においても大幅な遅延があった。</p> <p>確定申告時のパソコンの入力ミスにより、後期高齢者医療費の自己負担割合が、1割から3割に増加してしまった際、税務署や市財政局は早期に必要な修正の対応をしたが、保健福祉局からの2割分の差額の支払いは、返済までに7か月以上の期間を要した。遅延の理由について、納得のいく説明はなかった。</p> <p>このことについて、早期改善を求める要望書を提出したが、組織・機構等の改善の様子はない。</p> <p>このように、市民が求めるスピーディーな業務の遂行、事務の簡素化、市民の負担を軽減するなどのスピリットはみじんもうかがえないどころか、数時間ないし1日で終わることを、5か月間もかかることが当たり前とし、遅いとの意識もない、分かっても改善しない、市民から意見が出て無視する多くの職員にあ然とし、怒りを超え泣きたくなる。</p> <p>ついては、調査の上、保健福祉局の組織・機構等の全面改善と職員の再教育をされたい。</p>	